



仙台・宮城の美味や、優れたものを発信する取り組みとして、県産米や水産加工品、国産ホタテの殻を使ったエコなホタテ箸などを各店舗とネットで販売。好評を博している。

「昨年7月に、仙台建設業協会と「災害時における復旧作業援助者の宿泊に関する覚書」を締結されました。その経緯を教えてください。」
 日ごろからの防災・減災への取り組みはもとより、社会インフラの復旧に求められる方の宿泊施設の確保、この重要性を身に染みて感じました。しかし、どのような仕組みを整備すればよいのか、その方法が見つけれないまま月

宿泊施設として 災害復旧の一翼を担う

化され、管理職だけではなく一般職のスタッフまでスキルアップし、宿泊されるお客さまへの対応も円滑に行うことができるようになりました。今後さらなる活用を目指し、ブラッシュアップを図っていきます。

クローズアップインタビュー

クラウド活用で 仕事の効率化を図り、 おもてなしの充実に 注力してまいります。

ホテルグリーンチェーン仙台
松月産業株式会社
代表取締役

いまなか みえ
今中 美恵氏

プロフィール

東京都出身。血液型B型。
宮城学院高等学校を卒業後、宮城文化服装専門学校に入学。在学中から、父親が1965年に個人創業した旅館と不動産業を手伝う。1977年4月に正式に同社へ入社し、2016年8月に代表取締役へ就任。大切にしていることは「何ごとにも、真面目に一生懸命取り組むこと」。1年半ほど前に始めた、週に1回、2時間ほどホットヨガでリフレッシュするのが最近の楽しみ。「体調がとてよくなったんですよ」と明るい笑顔を見せる。



仙台発のホテルブランドを確立し、 お客さまの要望に迅速に対応

「御社が展開する「エリアドミナント戦略」のメリットについてお聞かせください。」

弊社は、2017年に創業50周年を迎えました。創業当初は12部屋の小さな旅館から始まった事業ですが、現在は、グリーンチェーングループとしてビジネスホテル13棟・計1148室を提供できるまでになりました。

エリアドミナント戦略とは、「地域を絞って集中的に出店する経営戦略」のことを指します。弊社のホテルのほとんどが仙台の市街地に集中しており、市内の他店の販売状況を迅速に集約でき、それに合わせて戦略を立て、即座にアクションを起こすことができるといったメリットがあります。その他、団体のお客さまに分散してお泊まりいただくなど、フレキシブルに対応することもでき、それが客室稼働率を高めることにもつながっています。また、東日本大震災のような災害時にも水が出る店舗から断水している店舗に水を運ぶなど、人やものを融通することで、営業を継続できました。現場で即断・即決、即行動に移すことができているのが中小企業の一歩の強みであり、弊社のエリアドミナント戦略が功を奏した結果であると自負しています。

全国展開のホテルチェーンと比較

また、昨年はタイ・バンコク線が就航、2023年度には次世代放射光施設が運用開始となることから、今後より多くの人が仙台に集まる可能性に期待しているところです。特に、インバウンド対応は弊社としても力を入れており、ホテル内外のサインの多言語化のほか、外国人スタッフの正社員登用にも積極的に取り組んでいます。日本の文化やおもてなしについてしっかりと教育し、一人一人を丁寧に育てることで、より質の高いサービスの提供を目指してまいります。あわせて、キャッシュレス決済の充実や自動チェックインシステムの導入など、利便性向上へも対応することで、今後も仙台の印象をよりよくするおもてなしの充実に努め、弊社の社是の一つである地域経済に貢献することにより社会と調和ある発展を目指してまいります。

すると知名度の点では劣りますが、ウィークポイントセールスポイントに変えるため知恵を出し、弊社が持つ強みをより磨くことに注力しています。

「頑張った取り組みが、昨年11月に開催された「全国中小企業クラウド実践大賞盛岡大会」での盛岡市長賞受賞につながったのですか。」

はい。今回、受賞の対象となったシステムを構築するまで、実は8年の歳月を要しました。

弊社のクラウド化を大きく後押ししたのは、東日本大震災でした。私どものホテルは、十分なサービスを提供できないながらも、震災当日も営業しました。スタッフ総出で、食事やお部屋の用意を行いました。ホテルの情報管理機能はと申しますと、本社と各ホテルに設置していたサーバーはすべて停止してしまいました。そのため、台帳による膨大な数の宿泊手配に始まり、大量の伝票の仕分け業務、効率の悪い業務連絡と確認作業を経験しました。この経験により、ITと人間の役割をしっかりと明確化することで、人間にしかできない「サービス」や「考える業務」に力を注ぐと決意したのです。

まず最初に、スタッフに負担を掛けず、情報の集約をスピードアップさせるために、各ホテルに設置していたサーバーをクラウド化しました。宿泊情報や顧客情報、経理関係の情報を一つのデータベースで管理することで、ホテル間の情報共有やオペレーションも一元

自動化で利便性を高め サービスの向上を目指す

「最後に、今後の事業展開についてのお考えをお聞かせください。」

今年度は東京オリピック・パラリンピックも開催されますので、一度仙台を訪れた方に、また来たいと思っただけのように、さまざまな点を見直し改善していきたいと考えています。そのためにも、冒頭でも申し上げた、クラウドサービスを活用することで、効果的な働き方を実践していきたいと思っています。例えば、職種ごとのマニュアルを作成して、スタッフ全員が同じクオリティのサービスを提供できるようにするといったことです。これについても、タブレットを活用して繰り返し学ぶことができるよう、社内環境を整えた結果、スタッフ全員がさまざまなツールを使いこなせるようになり、各店舗の客室稼働率や会議の内容などを社内全体で共有することで社内全体の士気が高まり、スキルアップされるといった相乗効果も得られ、業績向上につながっています。

【概要】

松月産業株式会社

代表者：今中 美恵
 創業：1965年9月
 設立：1969年12月
 事業内容：仙台市内に「グリーンチェーングループ」のビジネスホテル13店舗を展開するホテル事業、自社物件の賃貸収入と不動産仲介・賃貸物件管理を行う不動産事業を手掛ける。
 所在地：仙台市青葉区中央2-6-8
 TEL. 022-225-8001
 HP：https://www.bh-green.co.jp



より良い環境をめざす。

青葉環境保全 Aoba

〒984-0037 仙台市若林区蒲町19-1 TEL.022(286)3161(代)